

# 濰坊市概況

2025年4月



## 【基礎情報】(2024年)

- 人口: 936.95万人(省内3位)
- 面積: 16,140km<sup>2</sup>(省内2位)
- GDP: 8,203.19億元(省内4位)



### 【党委書記 劉運】

1969年7月生まれ、臨沂出身。  
2023年2月～現職

(前任: 江敦涛・重慶市副市長)



### 【市長 劉建軍】

1968年9月生まれ、青島出身。  
2023年2月～現職

(前任: 劉運・濰坊市党書記)

## 【歴史的エピソード】

- ◆ 山東省の中央部に位置。
- ◆ 青州は、夏(初代王朝)の創設者・禹が治水により区画した九州の一つ。
- ◆ 周の時代(紀元前11世紀)、初代の齊王を命じられた姜太公は營丘城(現在の昌樂県)に都を設定。姜太公は太公望の名でも有名。
- ◆ 明清の時代には手工業が栄え、「南の蘇州、北の濰県」と呼ばれた。
- ◆ 特に楊家埠村の木版年画(旧正月に飾る縁起物)が有名。
- ◆ 濰坊の地名は、中国共産党が実効支配した1948年から使用。

## 【現在の特徴】

- ◆ 「世界風揚げの都」と呼ばれ、毎年、国際風揚げ大会を開催。
- ◆ 特産品: 生姜、青大根、諸城緑茶、青州甜瓜、凧、年画等
- ◆ 莫言(ノーベル文学賞受賞者)、江青(毛沢東夫人)等の著名人を輩出。
- ◆ 昌樂県は全国最大のサファイアの生産地。
- ◆ 寿光、安丘、諸城は良質野菜の生産・加工基地として有名。特に安丘と諸城では日本向けの輸出も多い。
- ◆ 諸城は中国有数の恐竜化石(白亜紀)の産地として知られる。

## 【日本との関係】

- ◆ 在留邦人: 42名(2024年10月)
- ◆ 日本との友好都市: 日向市(1986年)、八街市(2009年)  
寒亭区と庄内町(2012年)。奎文区には濰坊日向友好学校がある。
- ◆ 大阪に日本濰坊総商会を開設(2019年)
- ◆ ODA: 諸城市郝戈庄鎮教学建設計画(1999年)の草の根・人間の安全保障無償資金協力実績あり。

## 【日本とゆかりのある地・施設】

### ◆ 濰坊日向友好学校

1996年、濰坊市と日向市の姉妹関係締結10周年を記念し、両市が共同出資で建設した小学校。



## 【観光地】

### ◆ 濰坊凧箏博物館

世界でも珍しい凧の博物館。施設内には、紀元前5世紀から現在までの国内の凧の他、日本を含めた海外の凧も展示されている。時代、地域、国によって形状や装飾が異なり興味深い。



### ◆ 青州

漢から明代にかけての千年以上、山東文化の中心を担い続けた。明清建築の特徴を残す青州古城や、6～11世紀の石仏群が残る駝山・雲門山が見所。



### ◆ 山東諸城恐竜国家地質公園

恐竜博物館など白亜紀後期の諸城恐竜(1964年、石油の試掘中に化石群が発見)に関する施設が点在している。



## 【グルメ】

### ◆ 朝天鍋

豚の各部位を生地に包み食べる。「鍋」とあるが鍋料理ではない。



### ◆ 濰坊火烧

この地域の伝統的な小麦粉料理。餡の種類が豊富で、豆腐または豆浆(豆乳)と一緒に食べる。



### ◆ 諸城燻製肉(諸城烧肉)

諸城市で有名な料理で、豚肉等の肉をゆでた後に燻製にする料理。

